校長室だより
No.　４２
平成 29 年３月 10 日(金)

強く　やさしく

六ツ美中部小学校校長
加　藤　嘉　一（かとう　よしかず）

ひみつのＳＰ（スペシャル）シャボン玉液の作り方　－混ぜる液体の配分－

３月生まれの子のお祝いをする誕生日会食が、今週で全て終わりました。転出入等もありましたから、全校で３１０人と少しの人との会食をしました。楽しかった。

さて、本年度一人一人に渡した「ＳＰシャボン玉液」は、１学期末に体験する機会（右写真）をもった「人が入ることのできる強力シャボン玉液」と同じ配分で作ったものです。渡す時に、「材料費は 300 円から 400 円くらい。食器洗いの洗剤と洗たくのりと水があれば作れるよ。普通より強力なシャボン玉液だよ。量についてはないしょ。」と言って渡しています。

大きい学年の子たちなら、自分たちで大きなシャボン玉が作れる配分を研究してもよいと思うので、これまで配分は伏せてきました。なかには「夏休みの自由研究でやろうかな。」と口にする子もいました。（小学校の算数で学ぶ比の学習は、２つの量を比べる比までなので、少し発展学習です）また、同時にストローを一人３本渡しました。ストローの先も、はさみなどでいろいろな形に切ったり変形させたりして、シャボン玉の出来具合の違いを研究するなど、そのおもしろさを感じてほしいと思ったからです。これなら小さい学年の子たちもできます。

全員に渡し終わったので、わたしの配分比を公開します。これは以前勤めた小学校で５年生の子たちと一緒に何度か実験して出した比です。（正確には、その子たちは２：１１：１１がよいと言っていました）実際に、右の配分比で今年度は成功しているのでまず大丈夫だと思います。ただ、巨大シャボン玉用の液の配分比は、様々な人がインターネット上で公開しています。わたしとは違う配分比で作っている人たちがたくさんいます。

わたしの作った
ＳＰシャボン玉液の配分比

食器洗い用洗剤：洗たくのり：水
＝１：５：５

※食器洗い用洗剤は、界面活性剤が42%の市販のもの（キュキュット）
※洗たくのりは、市販のＰＶＡ（ポリビニールアルコール）のもの

グラニュー糖やグリセリンなどを混ぜるという人もいます。わたしの経験では、温度や湿度も関係しますが、多少の差は対応できると思います。ちなみに人が入るシャボン玉をつくるなら、配分も重要ですが、室内でやれるところを探すことをおすすめします。（第１５号参照）

シャボン玉にはいろいろな魅力があると感じます。科学の目でとらえる子供や詩的にことばと結びつける子供、美しさを感じ取り絵や映像としてイメージを残す子供等、一人一人の見方や感じ方、考え方が生きるものです。この機会を通して、一人一人の見方や考え方、感じ方が育ち、祝ってもらう喜びを感じ生きる幸せを家族に感謝する日となってくれたら、わたしの願いは成就します。

「先生。来年何くれる？」このことばは、耳が痛いです。

学校診断アンケート結果配付

１月末に御協力いただいた「学校診断アンケート」では、貴重な御意見をありがとうございました。集計結果の分析や自由回答に対する考えを学校評議員会でお諮りし、御高評を加え、今週火曜日に実家庭数で配付させていただきました。

この「学校診断」は、平成２０年頃から始まった「学校評価制度」に則って行っています。「学校評価制度」とは教育活動の成果を検証し、学校運営改善の視点や学校のよさをとらえるためのものです。さらに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることを目的としています。

「学校診断」は、わたしたちの教育活動について、毎年反省する機会となります。来年度の教育活動に生かしていきたいと思います。保護者・地域の皆さんにおかれては、子供・保護者の意識をとらえていただくとともに、今後も共に子供を育てていく視点をもっていただければありがたく思います。また、昨年より自由記述について、回答を作らせていただいています。わたしたちの情報提供が十分でなく周知できていないものや、学校運営に関するものでお示しするとよいものについて、まとめさせていただきました。御理解いただければ幸いです。

学校診断結果より

（一部）

〇児童用集計結果より

質問５（表現力）の結果は、◎+〇が 68.9％と他に比べ低い結果です。昨年度より 10.2 ポイント減少しています。自分の思いや考えを表現することに自信が持てるように、言語活動に力を入れていきたいと考えます。

〇保護者用集計結果より

昨年度課題であった質問２（正しい姿勢・学習用具）の結果を見ると、◎＋〇が 75.1％となり、昨年度より 7.1 ポイント上昇しました。えんぴつの持ち方検定が２年を経過し、少しずつ成果が表れていると考えます。今後も粘り強く指導を続けます。

次号が、本年度最終号の予定です。